

◆江戸東京伝統野菜

東京の四季を楽しむ。

江戸東京伝統野菜をお弁当でご用意致します。

武蔵の気候風土になじみ育まれた江戸東京伝統野菜。旬の味覚を盛り込み、東京の四季を感じられるお弁当に仕立てます。

地域の野菜

江戸東京伝統野菜



東京江戸伝統野菜研究会
代表 大竹道彦さん

江戸東京野菜とは、
武蔵の地に都が遷り「江戸」となってから人口が爆発的に増加し、食料不足を解消するために
参勤交代で江戸住まいをする諸国の大名が持ち込んだ野菜のタネが江戸の各地で栽培されました。
その土地の気候風土になじみ育まれ江戸東京の伝統野菜となりました。近代に入り東京が宅地化され
生産者の減少や希少なタネが消失する中で江戸東京の伝統野菜を守るため、大竹道彦さんが
江戸東京伝統野菜研究会を立ち上げ伝統野菜の復活とアピールに取組まれておられます。



東京うど



馬込半白きゅうり



亀戸大根



寺島なす



三河島枝豆



千住ネギ



駒込三寸人参

※現在、JA東京中央会では、42品目を江戸東京野菜として承認しています。

東京うど (立川)



寺島なす (墨田)



千住ネギ



駒込三寸人参



亀戸大根



三河島枝豆



東京うどとは、
うどは、数少ない日本産の野菜で日本各地に
自生しています。江戸時代、参勤交代で江戸に
参勤する大名や武士が、各地の野菜を江戸に
持ち込んだ。そのうち、うどは、江戸の各地で
栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。
江戸時代、うどは、江戸の各地で栽培され、江戸の
野菜として知られるようになった。江戸時代、うどは、
江戸の各地で栽培され、江戸の野菜として知られる
ようになった。江戸時代、うどは、江戸の各地で
栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。

江戸の名産を食べる
今回は、江戸の名産を食べる。江戸の名産は、江戸の各地で栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。江戸時代、うどは、江戸の各地で栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。江戸時代、うどは、江戸の各地で栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。

江戸の名産を食べる
今回は、江戸の名産を食べる。江戸の名産は、江戸の各地で栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。江戸時代、うどは、江戸の各地で栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。江戸時代、うどは、江戸の各地で栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。

八王子しょうがとは、
しょうがは、数少ない日本産の野菜で日本各地に
自生しています。江戸時代、参勤交代で江戸に
参勤する大名や武士が、各地の野菜を江戸に
持ち込んだ。そのうち、しょうがは、江戸の各地で
栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。
江戸時代、しょうがは、江戸の各地で栽培され、江戸の
野菜として知られるようになった。江戸時代、しょうがは、
江戸の各地で栽培され、江戸の野菜として知られる
ようになった。江戸時代、しょうがは、江戸の各地で
栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。

江戸の名産を食べる
今回は、江戸の名産を食べる。江戸の名産は、江戸の各地で栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。江戸時代、うどは、江戸の各地で栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。江戸時代、うどは、江戸の各地で栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。

江戸の名産を食べる
今回は、江戸の名産を食べる。江戸の名産は、江戸の各地で栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。江戸時代、うどは、江戸の各地で栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。江戸時代、うどは、江戸の各地で栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。

寺島なすとは、
なすは、数少ない日本産の野菜で日本各地に
自生しています。江戸時代、参勤交代で江戸に
参勤する大名や武士が、各地の野菜を江戸に
持ち込んだ。そのうち、なすは、江戸の各地で
栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。
江戸時代、なすは、江戸の各地で栽培され、江戸の
野菜として知られるようになった。江戸時代、なすは、
江戸の各地で栽培され、江戸の野菜として知られる
ようになった。江戸時代、なすは、江戸の各地で
栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。

江戸の名産を食べる
今回は、江戸の名産を食べる。江戸の名産は、江戸の各地で栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。江戸時代、うどは、江戸の各地で栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。江戸時代、うどは、江戸の各地で栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。

江戸の名産を食べる
今回は、江戸の名産を食べる。江戸の名産は、江戸の各地で栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。江戸時代、うどは、江戸の各地で栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。江戸時代、うどは、江戸の各地で栽培され、江戸の野菜として知られるようになった。